

令和4年11月7日

宮崎県信用保証協会  
会長 武田 宗仁 殿

外部評価委員会

評価委員長 郷 俊介

評価委員 遠山 喜一郎

「令和4年度経営計画の進捗状況」に係る外部評価委員の意見

## 1 総括

新型コロナウイルスの影響が長期化しているものの、その状況下において積極的かつ幅広い取り組みによって、事業者及び地域経済に対し十分に貢献しておられると評価できる。事業者が置かれた状況は異なることから、フォローアップ等により十分に把握していただき、それぞれに必要な支援に引き続き取り組んでいただきたい。

## 2 重点課題についての評価

### (1) 保証部門

コロナの影響の長期化に加え、原油・原材料高の影響も受けている事業者に対する資金繰りについて、新たな保証制度も活用しながら充分に対応を行っている。

また、事業者や金融機関に対し、約定弁済の軽減に向けた案内も実施されており、今後さらにこのような取り組みは重要性が増すものと思われ、引き続き対応をお願いしたい。

### (2) 経営支援部門・期中管理部門

創業・事業承継への取り組みは直ちに成果として表れるものではないが、事業者への直接のフォローアップやセミナー等の活動は重要であることから、それぞれの取り組みについて評価できる。

また、コロナ関連融資を利用した事業者を中心にヒアリングを実施されており、その後のフォローアップも継続して取り組んでいただきたい。

また、中小企業支援ネットワーク事業における研修・勉強会事業で実施した研修会についても、情報・意見交換を行う機会として有効であることから、引き続き実施をお願いしたい。

### (3) 回収部門

事故報告・代位弁済と回収の部署を統合したことによって事務の効率化が図られたことを活かしながら、求償権消滅保証や経営者保証免除といった取り組みづらい課題に対し、引き続き慎重かつ適切に取り組んでいただきたい。

### (4) その他間接部門

金融機関などの関係機関との連携は、協会の各事業にとって必要不可欠であると認識しており、現在も充分連携が図られているところではあるが、引き続きその連携を活かした取り組みに期待したい。

また、不正利用防止の観点から「保証対象者判定委員会」を設置し、運用が開始された点について評価したい。